

6 就職希望の動機を伝える

面接は、自分がその会社で働きたい、会社をお願いしてやってもらうものです。だれでも緊張する場面なので、うまく話をするのは大変です。色々な質問をされても、うまく答えられないかもしれません。でも、どんなことを聞かれるか前もって考えておくと、少しスムーズに答えることができます。

聞かれたら答えられるようにしておくこと

1 自分のことを答える

- 「あなたの名前は?」、「何歳ですか?」、「どこの学校に通っていますか?」、「どこに住んでいますか?」、「会社までどうやって来ましたか?」など。
- 余計なことまで話さず、聞かれたことだけていねいに答える。

2 会社で働くために必要なことについて答える

- 「この会社のことは、どうやって知りましたか?」
- 「この会社を希望した理由は何ですか?」、「どんな仕事をしたいですか?」
- 「得意なことは何ですか?」、「苦手なことはありますか?」

など

3 ていねいな言葉づかいをする

- 「～です」、「～ます」という終わり方で話す。

4 わからないときも、はっきりと話す

- 質問が聞き取れなかったら「すみません。もう一度お願いします」と言う。
- わからなかったら「すみません。わかりません」と答える。



× これはマナー違反です

- ◆ 「この会社を希望したのはなぜですか?」と聞かれても、答えられない。
- ◆ 「何か得意なことはありますか?」と聞かれて、自分の得意なスポーツの話をしつづける。
- ◆ 質問された内容がわからなかったのに、ずっと下を向いて黙っている。



? こんなとき、相手はどう感じてしまうでしょう



- ◆ 自分で希望して来ているのに、この会社がよい理由をどうして答えられないのかな? 本当にこの会社がよいと思っているのかな?
- ◆ 何だか子どもみたいな態度だな。本当に働けるのかな?
- ◆ わからないなら、はっきり質問すればよいのに。仕事をしてもらうときも、こんな調子では困る。

☑ チェックポイント

- 会社を希望した動機を、答えられるようにしておく。
- 家や学校、施設などで面接の練習をしておく。

